



Nishitokyo City
西 東 京 市

議会だより

第81号

平成31年1月15日
(2019年)

〒188-8666 西東京市南町5-6-13

042-464-1311

編集／議会報編集委員会

発行／西東京市議会

平成30年

第4回 定例会

○第4回定例会

会期…11月16日(金)～12月5日(水) 20日間

	審議 件数	可決・ 採択	否決・ 不採択	継続	取り下げ
市長提出議案	30	30			
条例	7	7			
予算	1	1			
その他	22	22			
議員提出議案	4	4			
陳情	10	2	5	2	1



第4回定例会最終日を終えて

(平成30年12月5日撮影)

今定例会は、現議員の任期中における最後の議会でした。

平成31年1月21日からは、さきの市議会議員選挙(平成30年12月23日実施)により選出された28人の議員によって、議会が運営されます。

主な議案

「西東京市民会館条例を廃止する条例」を可決

7面へ

西東京市民会館は昭和44年に建設され、施設及び設備の老朽化が著しく、安全性及び継続性の確保に課題があり、有料施設としての機能を維持することが困難なことから、平成31年3月31日をもって閉館するための条例を可決しました。

「下水道事業の設置等に関する条例」を可決

7面へ

今後も持続的、安定的に下水道事業を運営し、住民サービスを提供するに当たり、地方公営企業法を適用するための条例を可決しました。

8面

議案の議決結果一覧
応募写真
陳情の結果
今定例会で可決した意見書
会議録の公開予定
退任議員の紹介
編集後記

7面

委員会の審査から
予算特別委員会の審査から

6面

一般質問の要旨
遠藤 源太郎 議員(自民)
浅野 高司 議員(自民)
用語の解説
会議の開催状況
議会NEWS
第7回議場コンサートを開催しました

5面

一般質問の要旨
浜中 のりかた 議員(自民)
酒井 ごう一郎 議員(自民)
田中 のりあき 議員(自民)
保谷 なおみ 議員(自民)
稲垣 裕二 議員(自民)
小林 たつや 議員(自民)

4面

一般質問の要旨
藤田 美智子 議員(公明)
佐藤 公男 議員(公明)
たきしま 喜重 議員(公明)
山崎 英昭 議員(みらい)
小峰 和美 議員(みらい)
森 てるお 議員(無所属①)

3面

一般質問の要旨
森住 孝明 議員(共産)
二木 孝之 議員(立憲改)
坂井 かずひこ 議員(立憲改)
森 信一 議員(立憲改)
田代 伸之 議員(公明)
大林 光昭 議員(公明)

2面

一般質問の要旨
納田 さおり 議員(無所属②)
後藤 ゆづ子 議員(ネット)
かとう 涼子 議員(ネット)
保谷 清子 議員(共産)
藤岡 智明 議員(共産)
大竹 あつ子 議員(共産)

紙面の紹介(もくじ)

「声の市議会だより」をお届けしています。
(デジ版・CD版)

お知り合いの方でご希望の方がいらっしゃいましたら
谷戸図書館(☎042-421-4545)へお問い合わせください。

一般質問 (1)

一般質問の要旨

第4回定例会で26人の議員が行った一般質問の主な内容です。掲載内容は、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。

◇質問の詳細は会議録に掲載しています。「会議録の公開予定」は8面をご覧ください。

凡例

自由民主党西東京市議団(自 民)
西東京市議会公明党 (公 明)
日本共産党西東京市議団(共 産)
統一会派みらい (みらい)
立憲民主党・改革フォーラム(立憲改)
生活者ネットワーク (ネット)
無所属 (無所属)

発達障がい児の可能性を伸ばす
政策を西東京市に掲げよ！

納田 さおり（無所属）

発達障がい児の可能性

質問 発達障がいの子ども

私たちはその得意分野を伸ばすことのできる能力を発揮する可能性が大きい。

受験など進路指導の状況は。

答弁 通級の教員と在籍校

の担任が連携し生徒一人一人の自己理解を育てている。

質問 4月2日の自閉症啓

発デーに世界142カ国以上が参加するライト・イット・

アップ・ブルーをスカイタワー西東京で実施し、発達障がいを啓発するべきだ。

答弁 発達障がいの理解の普及啓発策として検討する。

性暴力から子どもを守る！

質問 子どもを狙った性犯罪が増加傾向にある。子ども自身が被害者とならない認識を持てるように、適切な性教育を実施すべきだ。

答弁 児童生徒の発達段階

たかが名簿されど名簿、学校での
男女混合名簿の導入を求めます！

後藤 ゆう子（ネット）

質問 全ての政策、施策及び事業にジェンダーの視点を取り込むことへの見解を伺います。

市長 第3次男女平等参画推進計画を着実に進めるとともに、性別等により異なる扱いがされない社会を目指して、関連する事業を推進してまいります。

質問 この計画に対する男女平等参画推進委員会の評価を受け、担当課は検討や改善を行っていますか。

部長 評価を担当課にフィードバックし、それを踏まえて次年度の事業に生かしていると考えています。

質問 男女平等推進条例制定への見解を伺います。

がん検診の無料化の継続、
図書館の空白地域の解消を求める

保谷 清子（共産）

がん検診について

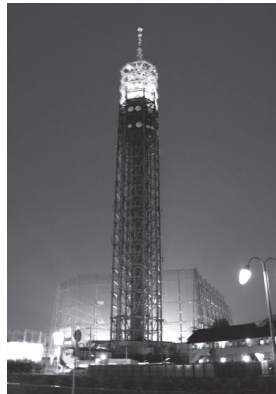
質問 がん検診の有料化は受診抑制が起これば、市民の命と健康にマイナスを与える。健康応援都市にも逆行する。それでも有料化を進めるのか。

答弁 継続的ながん検診サ

成年後見制度活用

質問 振り込め詐欺対策としてひとり暮らし高齢者の金銭管理は重要であり、成年後見制度の活用による支援策を構築すべきだ。

答弁 必要性を認識しており社協と連携していく。



アップでライトアップされるスカイタワー西東京（芝久保町5丁目）

いつまでも通える福祉会館に！
ごみの拠点収集廃止に反対！！

かとう 涼子（ネット）

支援させていただく。

質問 市は瓶・缶等の資源ごみの拠点回収を戸別収集に切りかえるとのこと。収集費用がかさみ、収集回数が増える戸別化には反対だ。

答弁 近年、集積所をめぐるトラブルが増えてきた。置きかごの飛散防止や排出困難者対策としても、戸別化の早期実施が必要である。

意見 自治会組織率の低い西東京市にわずかに残るコミュニティを解体すべきではない。困難者対策は、ふれあい収集を強化すればよい。高齢単身世帯が増える中、かごの管理を自己責任とすれば本当に事故が防げるのか。疑問だらけだ。

答弁 事業の発展のためには市民ボランティアの協力が不可欠。不安なく活躍していただけるよう、継続し

国民健康保険料の負担軽減で
市の役割を果たせ！

藤岡 智明（共産）

質問 国民健康保険財政健全化計画では、法定外繰入金（2017年度決算・16億7千万円）の解消・削減が求められている。これにより保険料が計画的に引き上げられるが、見解を問う。また、保険料の多子世帯減免を求めるが、見解は。

答弁 国保運営協議会に計画策定を諮問し審議中だ。答申を踏まえ、削減の目標

年次、年次ごとの数値目標など計画を策定する。多子世帯減免は考えていない。

意見 実に冷たい答弁だ。繰り入れは自治体の判断で可能。今後とも繰り入れは継続し、多子世帯への減免こそ自治体の重要な役割だ。国民連携事業について

質問 国民連携ガイドラインが策定されたが、今後の事業展開について問う。

体育館のエアコン設置を早急に！
保谷駅前通りの歩道の安全対策を

大竹 あつ子（共産）

障がい者グループホームの開設について

質問 障がいがある方が地域で暮らすためにグループホームは重要だ。開設に向け、地域住民の理解を得るために市ができることは。

答弁 民間事業者への情報提供や地域住民の理解・啓発に取り組む。

小・中学校体育館のエアコン設置について

質問 避難所になる体育館にはエアコンが必要だ。国や都の補助金を活用し、早期に設置すべきだが見解は。

既存の児童館を再編整理し、中高生の居場所として特化した児童館を検討する。

意見 新町児童館は幼児の活動にも力を入れている。新町児童館は残すべきだ。児童館の民間委託は、安易に行うべきではない。

高年齢者の移動支援について

質問 病院や公共施設への移動支援の要望が強い。福祉バスや福祉タクシーの検討を求める。

答弁 リフト付きの福祉車両等を用いて、高齢者等外出支援を行っている。

図書館について

質問 テレビ放送でも読書が健康長寿に大きな影響を与えるとのことだ。空白地域の解消を進めるべき。

答弁 図書館計画について12月にパブリックコメントを実施する。

答弁 今後は、事業費総額1億円以上の施設整備事業と単年度2千万円以上の施設維持管理、運営費について国民連携手法を導入する。

意見 図書館や公民館など、先に国民連携ありきではだめだ。市民の立場から何を優先すべきか考えるべきだ。就学援助について

質問 生活保護基準見直しによる、就学援助の影響は

意見 改定前の基準を維持することを検討されたい。

が狭く危険だ。無電柱化や都道3・4・12号線と一体的に整備すべきだが状況は。

答弁 無電柱化を計画している。都道3・4・12号線開通後は安心して買物ができるコミュニティ道路の整備を検討する。



保谷駅南口駅前の保谷新道

一般質問 (2)



アイスアリーナや早稲田大学東伏見運動場がある東伏見駅南口

【質問】 早稲田大学と合併前の保谷市で取り交わされた用途地域見直しに関する協

定書は、締結から30年が経過している。市の地域施設設置について約束が履行されていない現状であるが、東伏見駅周辺のまちづくりに生かす考えは。

【答弁】 昭和63年に、市は用途地域の変更に協力すること、早稲田大学は施設計画策定に当たり市の地域施設の設置と近隣住民の意向等を反映させることなどを定めた。市の地域施設の設置

早稲田大学と交わされた協定書
施設設置は、近隣住民の意向を！

二木 孝之（立憲改）

奨学金制度を復活し若者に未来を
感震ブレーカー設置補助を進めよ

森住 孝明（共産）

奨学金について

【質問】 市はこれまで、都や国の動向を踏まえ、奨学生選考委員会などで検討するとしていたが、基金の活用を含め今後のあり方を伺う。

【答弁】 本市の大学生への給付制度については、他団体による制度の充実や、国の給付型奨学金の実施などにより再開する予定はない。高校生についても、国や都において授業料無償化や就学支援金などの取り組みの進行により、休止状態となっている。今後の制度・基金の取り扱いには奨学生選考委員会で検討している。

【意見】 国や都、その他の機関が実施しているから必要

がないということではない。これまで、何度も申し上げてきたが奨学金制度の復活と市独自の奨学金制度をつくることを強く求める。

【質問】 感震ブレーカーについて

【答弁】 感震ブレーカーは、機種により技術的・経費的問題もあるので慎重に検討している。なお、国や都に対し感震ブレーカーの設置補助制度の創設や設置の義務化、普及に係る法制度の整備や財政措置を要望している。

田無駅南口駅前広場の進捗は？
シルバー人材センターへの協力を

坂井 かずひこ（立憲改）



高齢者の就業及び活動の機会を確保する
シルバー人材センターがある保谷庁舎分庁舎

【質問】 田無駅南口駅前広場整備の進捗について伺う。

【市長】 5月21日に開催した説明会に出席されなかった権利者の皆様への個別の説明が終了し、現在は平成31年度の契約に向けて個別に協議を重ねている。引き続き

き権利者の皆様に事業協力をお願いを継続することともに、早期の完了に向けて丁寧な事業を進めていきたいと考えている。

【意見】 これからも関係権利者の事業協力などをお願いとあわせて、引き続き地元の皆様への事業に対する協力要請と丁寧な合意形成に努めていただきたい。また、住み続けたいまち構想の案も参考にしてほしい。

【質問】 シルバー人材センタ

職員の新たな任用制度への移行は
市民サービスへの影響を考慮せよ

森 信一（立憲改）

【質問】 大規模な開発の申請があつたときが道路拡幅のチャンスと思うが指導はされているのか。

【答弁】 大規模開発事業については、人にやさしいまちづくり推進協議会の意見を聞いた上で指導・助言を行っている。

【質問】 高齢者問題は、支える世代にもつと目を向けるべきではないか。

【答弁】 多世代の方々に高齢者支援について知っていたかどうか今後努力する。

【質問】 これまでの臨時・嘱託職員が2020年4月より「会計年度任用職員」となる。同一労働同一賃金としてその処遇が改善されるものと期待をするが、市民サービスへ影響はないのか。

【答弁】 学童クラブ、公民館、図書館などに多くの嘱託員等が勤務されていることから、市民サービスへの影響

ーについて、これまでの成果と今後の取り組みを伺う。

【市長】 これまでに出張入会説明会、チラシの全戸配布、活動紹介フェア、市民まつりなど会員の増加に取り組んできた。平成30年10月から新たな取り組みとして、会員がパソコンやスマートフォンで確認ができる求人等情報サービスを開始した。

【意見】 シルバー人材センターは世界に例を見ない高齢者のためのすぐれた雇用システムであると注目されている。西東京市としても引き続き協力、助言をお願いしたい。

【質問】 西武鉄道（株）から警視庁に対し、ひばりヶ丘駅南口駅前広場に面した西武敷地内への交番移転の提案があつたと伺っている。

【意見】 地域の皆様が、将来にわたって安心・安全に暮らしていけるよう、本市があらゆる面から協力してい

【質問】 はなバス第4南ルート、芝久保運動場から花小金井駅の増便を検討すべき。

【答弁】 運行便数の見直しの可能性を検討する。

【質問】 柳沢などでは、新たな公共交通手段の検討とともに、生鮮品等の移動販売なども行うべき。

【答弁】 総合的に検討する。

【質問】 放課後等デイサービスを利用する児童の該当・非該当判定は、丁寧な説明、適切な評価をすべき。

【答弁】 適切な療育を提供できる体制の整備に努める。

【質問】 災害時の指定避難所の開設・運営について、行政の役割は。

【答弁】 避難所開設は市の当

子どもたちの教育環境の充実
通学時携行品への適切な配慮を

田代 伸之（公明）

【質問】 民間所有ブロック塀の安全対策について、新たな補助制度を構築すべきと考える。見解を伺う。

【答弁】 国や都の動向等を注視し、先進事例を参考に調査研究していく。

【質問】 これまで、ひばりヶ丘駅南口交番の移設の再考を求めてきた。現在の協議状況を伺う。

【答弁】 西武鉄道（株）から警視庁に対し、ひばりヶ丘駅南口駅前広場に面した西武敷地内への交番移転の提案があつたと伺っている。

【意見】 地域の皆様が、将来にわたって安心・安全に暮らしていけるよう、本市があらゆる面から協力してい

【質問】 次期教育計画（素案で）持続可能な社会の創り手を育むための教育環境の充実」を位置づけ重点化した。副読本については、社会科や総合的な学習の時間に活用し、理解促進やESDの推進に取り組む。

子どもから高齢者まで、安心して
暮らし続けられるまちへ！

大林 光昭（公明）

然の責務。運営体制の充実に努める。

【質問】 改正児童館ガイドラインを踏まえ、今後の児童館の役割は。

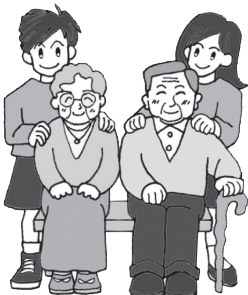
【答弁】 いじめや不適切な養育等への対応が求められる。

【質問】 児童・生徒の携行品について、文科省から荷物軽減に取り組むよう通知があつた。教育長の本気度は。

【答弁】 他市の紹介事例を参考に、学校と連携を図る。

【質問】 中央図書館の利便性向上、学習室の整備や開館時間の拡大を検討すべき。

【答弁】 トイレ、空調設備等に加え、レイアウト変更の可能性、学習室や開館時間の拡大を検討・検証する。



一般質問 (3)

健康寿命の延伸政策（がん教育・
ピンクリボン・フレイル）推進を

藤田 美智子（公明）

質問 平成25年に市教委の教育長を訪ね、健康寿命延伸に資するがん教育の重要性について意見交換をした。その際お届けした教材を活用し、市教委の協力のもと、健康課職員が講師となり、がん教育に取り組んでいる。受講児童数と効果を問う。

答弁 平成29年度末まで約3千人が受講。実施後のアンケートで、ほぼ全児童が「家族や周りの大人にも話してみよう。自分が大人になったら気をつける。」と回答。
質問 若年の死亡率が高い乳がんの予防啓発運動として、スカイタワーのライトアップを提案し、平成25年9月から実施された。市長

の素早い対応で休日も検診できる協力病院を複数つくり、駅やアスタで申し込みを受け付けた。本市の女性のがん死亡率の推移を問う。

答弁 ライトアップ等ピンクリボンキャンペーンにより、文京区の次に低い死亡率となった。都内平均と比べても12・2ポイント低い。

質問 5年前からフレイル予防に取り組んでいる千葉県柏市の効果について問う。

答弁 要介護リスクが、滑舌の改善で30％減。外出頻度の改善で45％減。物忘れの改善で36％減の効果あり。
意見 市ホームページでフレイル予防を示し、スピード感ある展開を求める。

避難所に液体ミルクの備蓄を！
ブロック塀同様万年塀の対策を！

佐藤 公男（公明）

意見 国内販売が始まる液体ミルクを、避難所備蓄用ミルクとして、平成31年度から備蓄を求める。

質問 ブロック塀とは規格が異なる万年塀についても対策を講じるべきと考える。

答弁 公共施設の万年塀については、点検を行い対策を講じている。民間所有については国や都の動向を注視する。

田無福祉センターバス停を

質問 はなバス第4北ルートは、花小金井行きのバス停が設置されていない。センター内乗り入れ等で設置できないか。

答弁 センター乗り入れは

大きな動きがなかった西武柳沢駅
周辺は何もしない方がよい？

たかしま 喜重（みらい）

質問 いつまで経っても動く気配のない西武柳沢駅周辺はもうこのままで何もしない方がよいとの声もでている。そもそも何のために優先整備路線と位置づけられた都市計画道路の計画なのか、富士街道の無電柱化の必要性について問う。

答弁 地域の活性化や住みやすいまち、都市防災機能の強化等を実現するため、選定された。

意見 やはり柳沢の都市計画道路、無電柱化の必要性を認識できた。しっかりと柳沢地区のまちづくりに取り組んでいただきたい。

質問 私の質問からふるさと納税を歳入の観点から検討していただいた。今後の取り組みについて問う。

討じていただいた。今後の取り組みについて問う。

答弁 さらなる歳入確保につながるよう検討を進める。
意見 行政の限界を感じる。民間活力を検討し、しっかりと位置づけを取り組んでほしい。

質問 災害時、家族同様のペットとの同行避難について問う。

答弁 獣医師会と連携し、動物愛護の観点だけではなく飼い主の安全に寄与することから、引き続き検討し充実を図る。

その他質問等
◇産業振興施策・観光施策
◇エンディングプラン・サポーター事業

情報公開・説明責任・市民参加の
徹底で公平公正な社会の実現を！

山崎 英昭（みらい）

質問 長と議会は二元代表制であり、それぞれが有権者の代表として対等でチェック・アンド・バランスの

関係にある。政党や政策の違いはあっても、それぞれが20万市民の代表として多様な市民ニーズを把握し、



本会議が行われる議場

も耳を傾け、互いに尊重し合い、オープンで活発な議論を通じて市民のために政策実現するのが議会の使命だ。そのため議会への平等で公平公正な情報提供は議論の基礎として欠かせない。

誰もが思う おなかを痛めた子は
できるだけ自分で育てたいと

小峰 和美（みらい）

質問 本来なら授かった子どもはできるだけ自分の身近な環境で育てたいと思う気持ちは誰しも持ち合わせている。現状の育児・介護休業法では、保育所入所保留通知書が必要で休業期間の延長を求めることができ

ない。そこに「落選狙い」という表現が生まれる。こうした意思とは違った思いにどう対応するのか。

答弁 国もこうした現状に対策を検討している。

質問 自転車事故を巡る高額な損害賠償が報告されている。最近ではスマートフォンを使用しながらの運転も問題視され、「ながら運転」が原因で死亡事故になったケースがある。賠償保険を義務づける条例の制定



情報公開コーナーは市政の窓だ！
隅っこに追いやることに反対する

森 てるお（無所属）

質問 市は情報公開をどう考えるのか。情報公開コーナーについてはどうか。

答弁 情報公開は国や自治体が業務上の記録を広く公開するためのもの。公正で民主的な行政を実現する基幹的な制度であり、市政を透明にして市民参加を進めるための重要な制度だ。情報公開コーナーは行政資料を備えつけ、情報公開等についての相談、案内や公文書の閲覧や視聴等ができ、公文書の開示請求等の受け付けも行う場だ。中央図書館とも連携していく。

質問 基本的な姿勢は同意するが、情報公開コーナーは合併後、市民が利用しやすいようにつくった。保谷庁舎の解体後、情報公開コーナーはどうなるのか。

答弁 田無庁舎を中心に今後情報公開の制度を維持していく。情報公開コーナー



公文書の閲覧や視聴等を行うことができる
情報公開コーナー（田無庁舎）

はできないか。

答弁 賠償保険の加入促進に向けて啓発に取り組む。

質問 「じいじ日々、居場所探しに、徘徊す」。この歌のように1人になった老後のなれの果ても身に迫る光景が浮かぶ。誰しもこの世の中楽しく過ごしたいがさまざまな事情で1人になった65歳以上が約1万人もいる。お年寄りの最大の敵は孤独だ。高齢者の居場所の確保について市の考えは。

答弁 ひとり暮らし高齢者の方が安心して暮らせるよう、地域で支え合えるまちを目指して考えていく。

一般質問 (5)、用語の解説、会議の開催状況、議会 NEWS

真の統合庁舎完成は15年先だ
時代の変化を十分意識して進めよ

遠藤 源太郎 (自民)

【質問】 田無駅南口広場実現のため、長年地元の方々と運動し、事業認可がおりた。

【質問】 台風24号は、本市でも風速40mを記録し、風の被害が多発した。自然災害の将来傾向を顕著に表した。

【質問】 今後、丁寧な事業を進め、早期の完成を目指す。

【質問】 台風接近時はもとより日常の備えを啓発する。

【質問】 農地と都市の緑は。

【質問】 新学習指導要領は、幼児と小学校の連携を重視し、スタートカリキュラム

【質問】 法の改正があり、生産緑地は都市にあるべきものになった。保全に努める。

【質問】 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の重要性が示され、平成30年度上

【質問】 真の統合庁舎の完成は15年先だ。時代の変化を十分意識して計画せよ。

【質問】 幼稚園の教育と小学校教育の円滑な接続の重要性が示され、平成30年度上

【質問】 I C T等の進展を考慮し、市民参加で検討する。

【質問】 小中学校の体育館にエアコンを設置せよ。

【質問】 特殊（架空請求）詐欺は、不安をあおるはがきの送付など、オレオレ詐欺より被害額が大きい。

【質問】 国・都と連携し本市として導入を検討していく。

【質問】 市報や防犯講話等で注意喚起し、被害防止に努

める。

【質問】 市報や防犯講話等で注意喚起し、被害防止に努

める。

【質問】 市報や防犯講話等で注意喚起し、被害防止に努

める。

【質問】 市報や防犯講話等で注意喚起し、被害防止に努

める。

【質問】 市報や防犯講話等で注意喚起し、被害防止に努

める。

【質問】 市報や防犯講話等で注意喚起し、被害防止に努

める。

【質問】 市報や防犯講話等で注意喚起し、被害防止に努

める。

【質問】 市報や防犯講話等で注意喚起し、被害防止に努

める。

【質問】 市報や防犯講話等で注意喚起し、被害防止に努

める。

【質問】 市報や防犯講話等で注意喚起し、被害防止に努

める。

【質問】 市報や防犯講話等で注意喚起し、被害防止に努

める。

【質問】 市報や防犯講話等で注意喚起し、被害防止に努

める。

【質問】 市報や防犯講話等で注意喚起し、被害防止に努

める。

議員生活36年、政治活動40年
市民の皆様へ感謝いたします

浅野 高司 (自民)

【質問】 下水道の受益者負担金について、約9千万円の寄附のお願いはどのように進め、また不能欠損が出た場合、責任はどうなるのか。

【質問】 子どもの水遊びできる公園を整備できないか。75の保育園のうち、プールの常設は22園、ビニールプールの利用が53園ある。

【質問】 商業地域に住宅ばかり建設されている。商業施設を誘致できないのか。

【質問】 文理台公園は34年が経過し老朽化が進んでいるため、リニューアルを検討中。市民とともに進める。

【質問】 地区計画等の検討の際にまちづくりの課題整理をして地域住民の意見を聞きながら対応を進めたい。

【質問】 近年は地球温暖化により夏は気温35度を超え、高齢者は厳しい暑さで、買い物や外出に不便を感じている。道路や駅前広場に常緑樹の植栽をできないのか。

【質問】 新庁舎建設に向けて他市ではさまざまな形で市民を巻き込み庁舎の建設を進めている。市民合意が一番重要である。

【質問】 根の成長や樹種、美観を考えて進めていく。

用語の解説



【SDGs】持続可能な開発目標
2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。

【ESD】持続可能な開発のための教育
地球に存在する人間を含めた命ある生き物が、遠い未来までその営みを続けていくために、これらの

課題を自らの問題として捉え、一人一人が自分のできることを考え、実践していくことを身に付け、課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動。

【こがねいロケよび隊】小金井市民によるフィルムコミッションを運営する団体。

【にしにしnet】(西東京市西部地域協力ネットワーク)

西東京市を東西南北4つに分けた西の地区で、団体や住民がともに助け合うためのネットワーク。

会議の開催状況

(平成30年10月～12月)

10月

26日 議会報編集委員会

11月

13日 議会運営委員会

16日

第4回定例会・本会議(議案等上程、付託、委員会審査報告、議決、文教厚生委員会、議会運営委員会、議会報編集委員会)

19日

本会議(一般質問)

20日

本会議(一般質問)

21日

本会議(一般質問)

22日

本会議(一般質問)

26日

文教厚生委員会

27日

企画総務委員会、建設環境委員会

28日

議会運営委員会、会派代表者会議

12月

5日

本会議(議案等上程、付託、委員会審査報告、議決、議会運営委員会、企画総務委員会、予算特別委員会)

26日

会派代表者会議、議会報編集委員会

議会 NEWS

第7回議場コンサートを開催しました!



正副議長と演奏者の皆さん

市民の皆さんに議会活動についての理解を深めていただくことを目的に、西東京市議会主催による議場コンサートを開催しました。当日は過去最多の96人の皆さんにお越しいただきました。

西東京市のホームページから議場コンサートの録画中継を視聴することができます。

【西東京市ホームページ⇒西東京市議会⇒議会インターネット中継】



★★★ 皆さんのコンサートの感想は? ★★★

81名の方がアンケートにご回答くださいました。ご協力ありがとうございました。

♪ 本日の議場コンサートはいかがでしたか?

よかった.....76人
ふつう.....4人
よくなかった.....0人

【主な感想】

- ・議場に初めて入ることができてよかった。こういう機会がないとなかなか行けないのでいいきっかけになりました。生演奏はよかった。
- ・東京ニューシティ管弦楽団の演奏も色々なジャンルで組み合わせて大変素敵なコンサートでした。これを機会に傍聴したいと思います。

♪ これまでに市議会にお越しいただいたことはありますか?

ある.....29人
ない.....51人

♪ 西東京市議会に望むことは? (複数回答)

1位 市民が議会に関心をもちやすくなること.....40人
2位 市民と議員の意見交換の場を設けること.....38人
3位 議会の情報を積極的に発信すること.....28人
4位 議会の活動や議論がより活発になること.....23人
5位 その他.....16人

【主な意見】

- ・老人が多く、子どもが少ないので、子どもに厚い支援を願います。働く親・世代が働きやすいように、子育てしやすい西東京であってほしいです。老人にもやさしい市であってほしい!
- ・新しい住民にも市政の課題が伝わるよう、工夫を重ねてほしい。

※無回答を除く。

委員会の審査から、予算特別委員会の審査から

委員会

の審査から

議案や皆さんから提出された請願・陳情は、原則として所管の常任委員会等で審査を行います。ここでは、第4回定例会における各委員会での主な審査内容についてお知らせします。

企画総務委員会

「一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」

【説明】一般職の職員の期末・勤勉手当の見直しに伴い、関連する規定の整備をするもの。東京都人事委員会勧告の趣旨を踏まえ、東京都と同様に期末・勤勉手当の年間支給月数を0.1月分引き上げる。

【主な質疑】
問 国の人事院勧告、東京都の人事委員会勧告、西東京市の給与条例の関係について何う。
答 本市は合併以来、東京都の人事委員会勧告を踏まえ対応している経緯があり、それらの内容・趣旨を十分尊重して本市の条例案を提出した。
問 国の勧告はかなり早い時期に出されていたと思うが、条例改正がこの時期になった理由は。
答 総務省から地方公務員の給与改定に関する取り扱いについて通知があり、地方公共団体における職員の給与改定の実施は国における給与法の改正の措置を待って行うべきものであり、国に先行して行うことがないよう指導があった。給与法案が11月28日に可決されたことから今回の条例を提出している。

問 総務省から給与改定に関する通知があったという

が、市の見解について何う。
答 市は人事委員会を持つていないので、地方公務員法に基づく情勢適応の原則を踏まえるとともに、東京都人事委員会勧告の趣旨を踏まえて対応してきている。
問 給与改定による定員適正化計画への影響と計画の理念について何う。
答 定員適正化計画への影響はないと考えている。定員適正化計画については、行革の一端も担いつつ、合併という本市独自の状況を勘案しながら、進めてきている。これからのような職員を育て、必要なところに職員を配置し、どういう組織をつくっていくか、引き続き検討していく必要があると認識している。

【結果】賛成全員で可決

【文教厚生委員会】
「西東京市民会館条例を廃止する条例」

【説明】文化施設である西東京市民会館を閉館することに伴い、条例を廃止するもの。西東京市民会館は、建築後50年を目前としている施設でもあり、安全性及び継続性の確保に課題がある。このため、有料施設としての機能を維持することが困難なことから、平成31年3月31日をもって閉館する。

【主な質疑】
問 廃止に至るまでの流れの中で、利用者への周知は

どのように行うのか。
答 継続して文化芸術活動が行えるよう、活動が可能な公共施設等の情報を記載した資料を作成した。その資料を田無・保谷両庁舎の情報公開コーナー、文化施設の窓口を設置して、情報提供を行っている。また、市のホームページからもダウンロードできる。内容は、運動ができる施設、会議室、展示スペースとして利用可能な部屋、和室、それぞれ各分野の団体の内容によって選択できるように、6つの機能について施設をまとめている。施設名称、担当課、施設の面積、利用料金、設備、利用基準、予約方法をまとめて情報提供している。

問 子どもや若者の意見を聞いてほしいと述べてきたが、どのような対応か。
答 これまで開催した利用者等懇談会には大学生等も参加しているため、一定のご意見は聞いている。また、意見を聞く場を提供できていると考えている。引き続き、意見をいただき参考にしたいと考えている。

問 代替施設は足りるのか。
答 文化施設、市民交流施設以外にも市内の公共施設があり、利用時間帯や利用する曜日によっては、あいている時間帯もある。そういった時間帯にうまく利用者、利用団体が活動できる場として活用してほしい。

問 現状、文化施設の新設は、市民会館の跡地以外は一切検討していないのか。
答 市民会館の対応については、現地での対応と考えている。


【結果】賛成多数で可決

建設環境委員会

「下水道事業の設置等に関する条例」

【説明】下水道事業に地方公営企業法の財務規定等を適用するため、条例を制定するもの。今後の下水道事業は、人口減少などによる収益力の低下に加え、下水道施設の更新や維持管理が大きな課題となっている。こうした状況を踏まえて、今後も持続的、安定的に下水道事業を運営し、住民サービスを提供していくためには、地方公営企業法を適用し、公営企業会計へ移行するよう国から要請があった。本市においては平成31年4月1日から地方公営企業法を適用する。

【主な質疑】
問 財務諸表の経営成績や財政状態とはどういうことなのか。
答 地方公営企業法の適用後作成される財務諸表により、これまでの官庁会計では見えづらかった事業年度における収益と費用、利益損失などの経営成績を把握することができるようになる。また、年度末において下水道事業が保有する資産、負債といった財政状態を正確に把握することができる



市民会館

ようになる。これらの経営状況を正確に把握することにより、持続的、安定的に下水道サービスを提供していくための経営改善や効率的な下水道事業の運営に生かすことができると考えている。

問 多くの自治体は平成32年4月に適用するが、西東京市が1年前倒しの平成31年4月に適用する考えをお聞かせいただきたい。

答 20市が平成32年の適用を予定しているということから、平成32年の適用を目途とする状況になると、委託業者やシステム開発業者など競合するため、当市としては1年前に前倒しして移行を進めた。

問 公営企業会計に移行することによって、下水道料金に反映するのか。下水道料金の減免は、今回適用するのか。
答 独立採算などの財務関係は、法の適用後も変わらずに行つてまいりたいと考えている。また使用料の件については、企業会計の移行後、平成31年度決算の財務諸表に基づいて、経営に要する経費の的確な原価計算と将来的な投資経費も含めて下水道審議会に諮問を行い、慎重に検討する。減免の制度としては、市の独自のものがあり、法適用後も変更はない。

問 平成31年度の決算に基づいて、的確な原価計算と、いわゆる将来的な投資について計画をどうするか。
答 平成31年度に企業会計へ移行し、決算の結果を経て、事業の経営状態をしっかりと把握分析の上、計画を策定する。この計画の中の流域下水道の経費や将来

議会運営委員会


「政務活動費に関する陳情」

【趣旨】西東京市における政務活動費の領収書を誰でも瞬時に見られるように、インターネット上でも公開することを求めるもの。

【主な意見】
意見 陳情提出時に政務活動費のインターネット公開に向けた協議が進められていたが、こういった声も後押しとなつて、議会の透明性が増す結果をもたらしたと考えている。
意見 西東京市議会は情報公開に積極的に取り組んできた議会であり、政務活動費のインターネット公開についても早くから取り上げてきたが、議論の最中に陳情が提出された。議会の議論が市民に伝わっていない点は課題といえる。今後透明で公正・公平な議会を示していきたい。

意見 議会運営委員会で調査が行われている中の陳情であり、市民が関心を持っていることで私たちの協議も一段と力の入ったものになったと思う。こういったことを契機に、話が進み、合意が生まれていくとよい。

【結果】賛成全員で採択



予算特別委員会の審査から

平成30年度補正予算の主な審査内容をお知らせします。

◇質問の詳細は会議録に掲載しています。「会議録の公開予定」は8面をご覧ください。

平成30年度補正予算

◆一般会計（第3号）
【説明】歳入歳出予算にそれぞれ1千900万円を追加し、総額を725億3千162万3千円とするもの。
【主な質疑項目】
◎職員

の期末・勤勉手当の引き上げに伴う影響額と補正額及び予備費との差額について
◎財政調整基金の平成30年度末残高と行革アクションプランの目標額の不足額について
【結果】賛成全員で可決

お詫びと訂正
前号（第80号・平成30年11月15日発行）の記事に一部誤りがありました。次のとおり訂正するとともに、お詫び申し上げます。
3面・藤岡議員の一般質問
（正）行財政改革大綱
（誤）行財政改革大綱
8面・平成30年度補正予算（正）後期高齢者医療特別会計（第1号）
（誤）後期高齢者医療特別会計（第1号）

議案の議決結果一覧、応募写真、陳情、意見書、退任議員の紹介等

応募写真

平成30年に応募をいただいた写真をご紹介します。
ご応募いただきありがとうございました。



「田無タワーに沈む夕日」 山本 欣一さん(柳沢在住)



「我が街からダイヤモンド富士」 小原 純雄さん(柳沢在住)



「空撮・影富士を撮る！」 小原 純雄さん(柳沢在住)

第4回定例会 議案の議決結果一覧

○賛成 × 反対

件 名		会 派 ()は所属議員数								結 果
		自由民主党 西東京市議団(8)	西東京市議会公明党(5) ※1	日本共産党 西東京市議団(4)	統一会派 みらい(3)	立憲民主党・改革フォーラム(3)	生活者ネットワーク(2)	無所属①(1)	無所属②(1)	
補正予算 (30年度)	一般会計 (第3号)				賛成	全員			可決	
制定	下水道事業の設置等に関する条例	○	○	×	○	○	○	○		
条例改正	難病者福祉手当条例									
	中小企業事業資金融資あっせん条例									
	市立公園条例				賛成	全員				
	市道路占用料等徴収条例									
	一般職の職員の給与に関する条例									
廃止	市民会館条例	○	○	○	○	○	×	○		
その他	市道路線の認定について (20件)				賛成	全員				
	市道路線の変更について (2件)									
議員提出議案	森林環境税等の活用に関する意見書									
	住民票の除票及び戸籍の附票の除票の保存期間の延長を求める意見書									
	白タク行為へのさらなる対策強化に関する意見書									
	放課後児童クラブの質の確保を求める意見書									

※1 議長は採決に加われないため、採決時は4名

※1 議長は採決に加われないため、採決時は4名

陳情の結果

()は付託委員会

採択となったもの

○障害者の「移動支援」サービスの内容の改善に関する陳情 (文教厚生)

○政務活動費に関する陳情 (議会運営)

不採択となったもの

○仮設庁舎は無駄であるので市民合意を求める陳情

○仮設庁舎整備の見直しを市民参加で行うことを求める陳情 (議会運営)

○保谷庁舎の耐震診断を行い、診断結果を市民に公開することを求める陳情

○田無庁舎市民広場への仮設庁舎建設を断念し、災害に備え、ケヤキの植栽等を壊さないための陳情 (以上、企画総務)

「みどり基金」拡充制度を求める陳情 (建設環境)

継続審査となったもの

○保谷町5丁目市有地に関する陳情

○保谷町5丁目市有地に関する陳情 (以上、企画総務)

取り下げ

○平成31年度国民健康保険料の引き上げを行わないことを求める陳情 (文教厚生)

会議録の公開予定

会議名	冊子版		ホームページ
・ 本会議	・ 情報公開コーナー ・ 議会図書室 ・ 市内図書館	2月上旬	2月下旬
・ 常任委員会 ・ 議会運営委員会	・ 情報公開コーナー ・ 議会図書室	2月中旬	
・ 予算特別委員会			

今定例会で可決した意見書

森林環境税等の活用に関する意見書

【提出先】東京都知事
住民票の除票及び戸籍の附票の除票の保存期間の延長を求める意見書

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣
白タク行為へのさらなる対策強化に関する意見書

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣(規制改革)、国家公安委員会委員長
放課後児童クラブの質の確保を求める意見書

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、内閣府特命担当大臣(少子化対策)、内閣府特命担当大臣(地方創生・男女共同参画)

退任議員の紹介

平成31年1月20日の任期満了に伴い、次の5人の議員が退任します。
(議席番号順)

たきしま 喜重 議員

森住 孝明 議員

山崎 英昭 議員

二木 孝之 議員

浅野 高司 議員

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆様には、新年を健やかに迎えられたことと思います。
さて、平成30年12月に市議会議員選挙が実施され、市民の皆様には選ばれた28人の議員による新しい議会が1月21日からスタートします。議会だより第81号は、平成30年第4回定例会を中心に編集し、改選前の議員構成でお届けする最後の号となります。
私ども編集委員は、市民の皆様には、議会の内容をわかりやすくお伝えできるよう努めてまいりました。
今後とも市民の皆様には、議会を知っていただくためのツールとして、「議会だより」がお役に立てば幸いです。
(S)